

イベントの情報があれば、このスペースをご利用下さい

### スター・ウィークのテーマソングは「COSMOS」

星空を歌う音楽ユニット・アクアマリンの、夏の星空によく似合う素敵な歌。  
詳しくはアクアマリンのサイトへどうぞ！ <https://aquamari.com/>

### スター・ウィーク掲示板「今、星をみえています・今、天文台にいます」

スター・ウィークの7日間、どこかでみなさんと同じように星空を  
星空を見上げている人が、きっといるはず。そんな「誰か」と  
つながってみませんか？



施設・団体名を入れて  
イベントなどでお配り下さい

((C)copyright 1995-2024, StarWeek Project)

-だって星が綺麗だから-

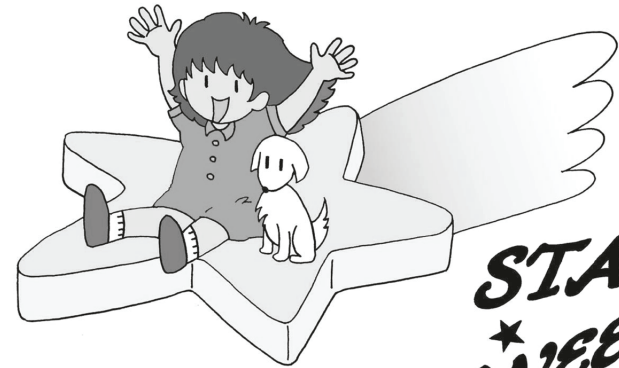
# スター・ウィーク

~星空に親しむ週間~

8月1日~7日

## スター・ウィークとは・・・

バード・ウィーク(愛鳥週間)があるのなら、  
「スター・ウィーク」があってもいいな...  
子どもも大人も、だれもが気軽に星空を  
見上げてほしい、そんな思いから始まった  
星空に親しむ週間です。



**STAR  
★  
WEEK**  
Aug.  
1st-7th

主催:スター・ウィーク実行委員会  
後援:自然科学研究機構 国立天文台・(公財)天文学振興財団  
協力:PAONavi準備会議、日本プラネタリウム協議会  
日本公開天文台協会  
<http://starweek.jp/>  
~2024年版~

# ★自分の目でみつけてみよう★

## ☆織姫星・彦星(おりひめぼし・ひこぼし)

頭の上を見上げると、明るい星が3つ、ベガとデネブとアルタイルで「夏の大三角」と呼ばれている、大きな三角形ができます。その中の「こと座のベガ」が織姫星「わし座のアルタイル」が彦星です。空の暗いところなら、七夕のお話のとおり、2つの星の間に天の川が見えます。

## ☆天の川(あまのがわ)

月明かりの少ないころ、街をはなれて空の暗いところに行くと、天の川が見えることがあります。ぼんやりとした、細長い雲のように見えますが、その正体は、たくさんの星の集まりです。

## ☆流れ星(ながれぼし)

毎年8月中旬ごろは、流れ星がよく見られます。「ペルセウス座流星群(りゅうせいぐん)」と呼ばれます。2024年は、12日から13日に日付が変わってから明け方まで、流れ星に出会えるチャンスです。月は日付の変わる頃に沈みます。流れ星は、空のどの方向にも現れるので見晴らしの良い方向を向いて、のんびり待って下さい。

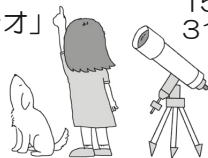
## ～惑星を見よう!～

今年のスター・ウィークの時期は、夜の遅い時間になると土星、明け方に近くなると、火星や木星が見えます。普段起きていない時間の星空を楽しみながら、望遠鏡を向けてみて下さい。

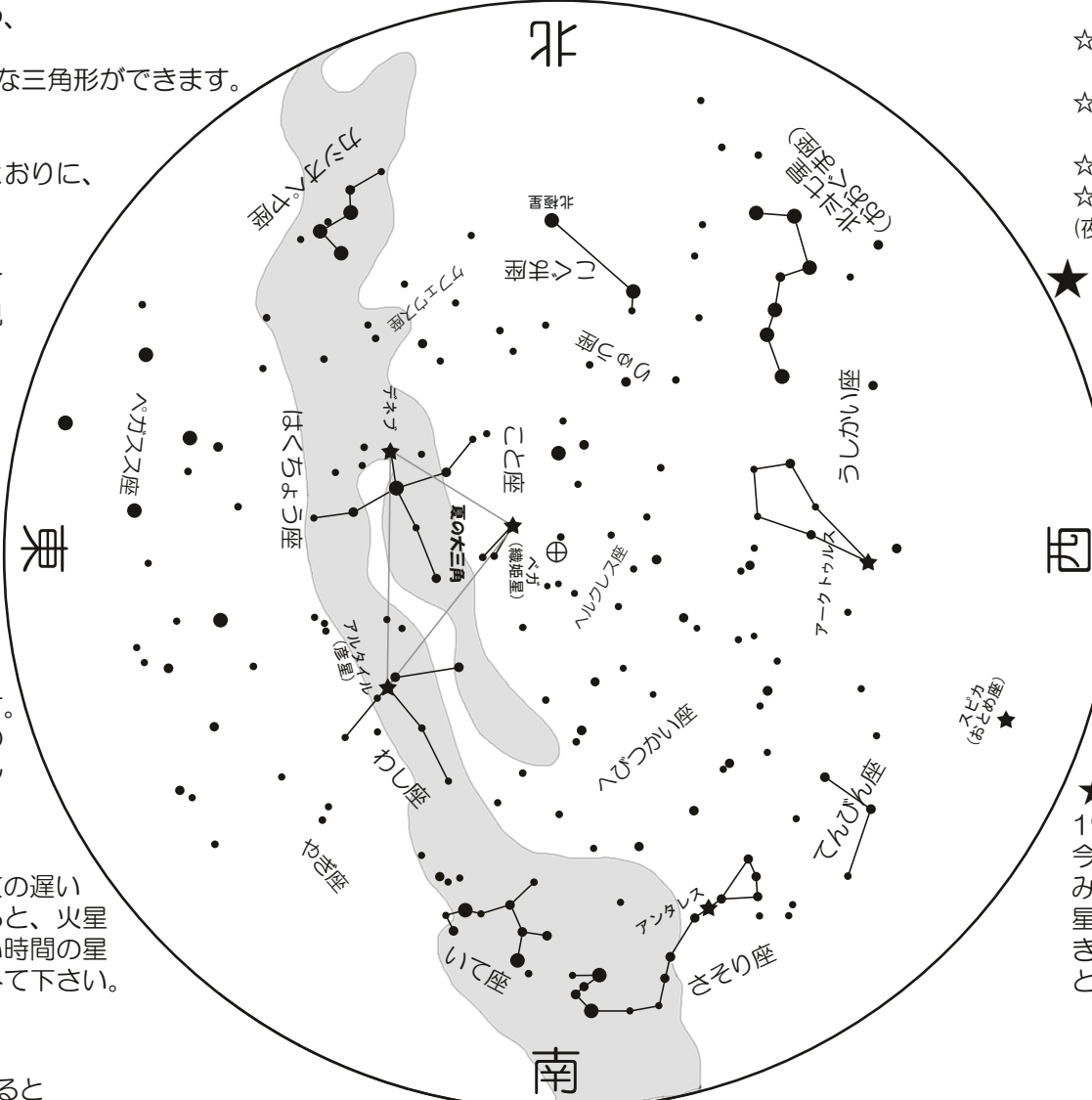
## ～二重星(にじゅうせい)～

目で見ると1つの星なのに、望遠鏡で見ると2つ星が見える、そんな「二重星」と呼ばれる星が、たくさんあります。特におすすめは、はくちょう座のくちばしの所にある「アルビレオ」という星です。青と黄色の星が見えます。

## ★双眼鏡や望遠鏡を使ってさがそう★



# 8月の星空



～この星空が見えるのは～  
8月1日夜9時ごろ  
15日夜8時ごろ  
31日夜7時ごろ

～月のようす～  
8月4日 新月 8月13日 上弦  
8月20日 満月 8月26日 下弦

★この図のみかた★  
⊕印のついているところが頭の真上です。見たい方角を向いて、その見たい方角の字が正しく見えるように手前に回して空と見くらべてみてください。

# ★星を見に行く時の持ち物★

- ☆星の場所を知るために  
→このリーフレットや星座早見盤
- ☆夜は暗い! 足元は大丈夫? →懐中電灯  
(赤いセロファンで光を弱くしてね)
- ☆寝転がって見よう →マット  
(安全なところに寝転がってね)
- ☆夏でも夜は寒い →あたたかい服
- ☆その他 →虫よけ、時計、などなど  
(夜でかける時は、必ずおとなの人といっしょに!)

# ★伝統的七夕を楽しもう★

7月7日の七夕は梅雨のくもり空で、なかなか星が見えませんか。実は、江戸時代まで使われていたカレンダーは、現在のものと仕組みがちがひ、日付も1か月ほどずれがあります。昔のカレンダーでの7月7日(伝統的七夕)は、今年は8月10日です。月遅れの七夕(8月7日)も入れると、あと2回七夕を楽しめます。部屋や身の回りの明かりを消して、普段より暗くなった夜空で、昔の人たちの気持ちになって、七夕を楽しんでみませんか?

# ★スター・ウィークは30回目★

1995年からはじまったスター・ウィークは今年でついに30回目になりました。みなさんが気軽に星空を見上げるきっかけになったら、とてもうれしいです。



2024年のキャッチコピーは  
「だって星が綺麗だから」

埼玉県の原 知也さんの作品が選ばれました。「ストレートに星の綺麗さを伝えつつも、冒頭の「だって」によって、それが誰かを誘う口実なのか、夜ふかしをした言い訳なのか、はたまた一人になりたくて夜に外に出るためのなのか、多様な解釈ができる余白を残しています。どんなシーンでも、きれいに輝く星は自分に寄り添ってくれると感じるのではないのでしょうか。」というメッセージを頂きました。